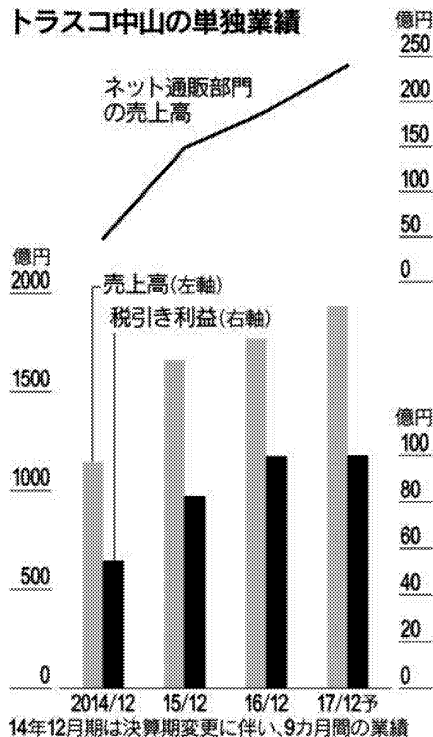


トラスコ中山の単独業績



トラスコ中山 (9830) ネット通販 工具でも浸透

中山哲也社長



工具の専門商社でホームセンターや専門店などを通じ、全国に商品を提供している。豊富な品ぞろえが特徴で、独自ブランド（PB）の商品開発にも力を入れている。2017年12月期の単独税引き利益は前期比 0.4%増の 100億円と、過去最高を更新する見通しだ。

売上高は9%増の1935億円を見込む。利益がわずかな伸びにとどまるのは、物流センターの新設に伴う減価償却費の増加と、賃金を引き上げたことで人件費がかさむのが主因だ。来年10月には埼玉県に全国で17カ所目となる物流センターを稼働させる。迅速な

商品供給を実現するためには物流網の拡充は欠かせず、将来に向けた投資と位置づけている。

ここ数年、特に売り上げの伸びが大きいのはインターネット通販だ。アマゾン・ジャパンやMonotaro（モノタロウ）などを通じた今期のネット経由の売上高は27%増の 240億円を見込む。全体に占める比率は12%程度にすぎないが、徐々に浸透してきた。これまで工具業界はネットへの対応が遅れてきたが、今後は大きな伸びが期待できる。

ただ、自社で通販サイトを運営する



ことは考えていない。あくまでも卸売業に徹する。今後の成長には、顧客であるホームセンターや専門店、ネット通販の運営会社などに対して商品を安定供給する必要がある。迅速で正確な商品説明も欠かせない。このため、配送などの物流も外部委託の割合を減らし、自社で手掛ける比率を高めていく方針だ。（押野真也）